



長寿

客員 相談役 藤井 基之

本年四月から、後期高齢者医療制度が実施されました。ところが、実施された直後から、新制度に対する批判の声が強くなりました。まずは、制度の内容についてはなく、制度の名前がいかに、ということでした。七十五歳以上の高齢者を対象とする制度という意味で「後期高齢者」という言葉が使われていたため、「後期」とはなんだと、福田総理ご自身も指摘され、結局、「長寿医療制度」と呼ばれることになりました。もっとも、後期高齢者医療制度という名称は、「高齢者の医療の確保に関する法律」という法律で定められているもので、その法律を修正したわけではないので、「通称」が変わったということなのですが。

次いで、今まで受けられていた治療が受けられなくなった、高齢者の保険料負担が増えた、年金から保険料を天引きするのはおかしいといった指摘でした。今まで

の治療が受けられなくなったというのは明らかな誤解です。これは、地方自治体には高齢者医療に対する独自の補助制度をもつところがありますが、新制度実施の機会に補助制度を廃止したところもあって、今まで無料だったものが突然、有料になったなどのことがあったようです。また、保険料負担については、保険料を年金から徴収するという方法が、軽減措置があるとはいえ、年金を主とする方々にとっては大きな負担感を生じたことは間違いありません。

国民年金という世界に冠たる公的年金制度をいかに堅持していくか、大変困難な課題であり、いろいろな施策が必要なことは確かですが、それにしても国民に対する政府の広報のあり方にも大きな問題がありました。

こうした騒動が起きるのも、わが国の人口の高齢化が急速に進んでいるためでもあります。しかし、高齢化

は長寿化。元気で長生きは、人間誰もの望みです。日本人の平均寿命は、男性は七十九歳、女性は八十五・八八歳、「元気で長生き」な国としては、世界一です。日本の百歳以上の長寿者数は年々増え続け、平成十七年には二五、五五四人となりました。ギネスブックでは日本人の泉重千代さんが百二十歳と三七日生きられ、長く男性世界一の長寿者として認められていました。なお、公式記録史上の世界最長寿者は、フランス人女性のジャンヌ・ルイーズ・カルマンという方で、百二十二歳と一六四日間生きられたそうです（この方、なんと一八九〇年に画家ヴァン・ゴッホに会ったことがあるそ

うで、その感想は「汚い人でした。」だったとか）。いずれにしても、日本は六十一歳（数え年）を還暦、六十六歳を緑寿、七十歳を古希、七十七歳を喜寿、八十八歳を傘寿、八十八歳を米寿、九十歳を卒寿、九十九歳を白寿、百歳を百寿、百八歳を茶寿、百十一歳を皇寿、百二十歳を大還暦と名付けて、長寿を寿んできた国です。国民の誰もが「元気はつらつー安心して長寿を楽しむことができる国創り」、それこそ政治の最大、最終目的であり、そのために政治はあります。確固たる医療保険制度、年金制度をつくり上げなければなりません。

ふじい もとゆき 藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ
<http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会造りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟副会長
社団法人 日本薬剤師会常務理事
平成13年 参議院議員
平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
平成19年 日本薬剤師連盟顧問
- その他
昭和大学薬学部 客員教授
共立薬科大学 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師
京都薬科大学 客員教授